

ボランティアの
編集委員が
つくっています



バックナンバーをWebにて公開中

芝情報誌

検索

SHIBA-TAG

とびきりの笑顔いっぱいの 福祉売店「はなみずき」



港区役所の玄関から右奥を見る



港区役所1階ロビーの一角にある休憩スペース。来所する方々が思い思いに過ごすその奥に、なにやら気になるショップがあるのをご存じでしょうか？

ここが、障害者の皆さんが精魂込めて作ったクッキーやさまざまな工芸品、有機野菜などを購入することができる福祉売店「はなみずき」です。お店の中にも障害者の方がいて、訪れる方々とのコミュニケーションを楽しんでいます。たくさんの笑顔が私たちに生きる力を与えてくれるのです。



遠隔操作型分身ロボットが お出迎え

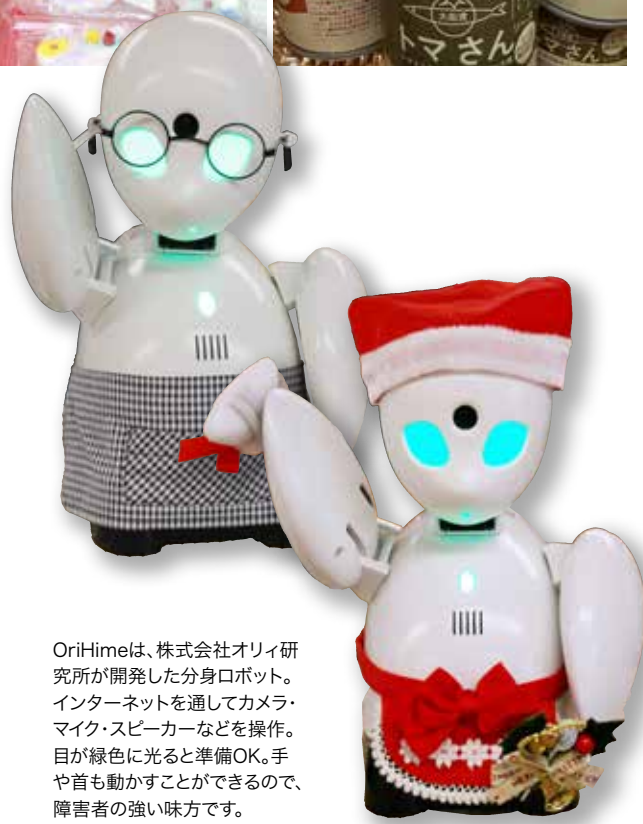
「いらっしゃいませ～」

お店の前で商品を見ていると、どこからか声が聞こえてきます。どこだろうとキョロキョロしていると……見つけました！

真っ白なボディに身を包んだ小さなロボットからでした。移動が困難な重度の障害者が、自宅のパソコンやスマートフォンなどを用いて分身ロボット (OriHime) を操作し、商品の案内などの接客業務をしているのです。

取材した日はクリスマス直前。メガネをかけたロボットと、サンタクロースの衣装をまとったロボット2台が手や首を動かしながらお出迎えしてくれました。OriHimeを通して障害者の方とお話ができ、ほっこりとした気持ちに。つつい財布の口が緩んでいっぱい買ってしまいました。

(2面へ続く)



OriHimeは、株式会社オリイ研究所が開発した分身ロボット。インターネットを通してカメラ・マイク・スピーカーなどを操作。目が緑色に光ると準備OK。手や首も動かすことができるので、障害者の強い味方です。

しばタグ

目次

VOL.67

●福祉売店「はなみずき」.....	P1	●[芝の家・ちゃぶ台日誌] 春編.....	P6
●[Shiba Topics] 芝パークホテル.....	P3	●芝会議って何?.....	P7
●[芝の老舗] 株式会社バンザイ.....	P4	●港区総合型地域スポーツ・文化クラブ三田 (スポーカル三田).....	P7
●[キッズみらいルポ] みなと子育て応援プラザPokke.....	P5	●[芝地区さんぽまんが] しばテク ～芝地区テクテク～②.....	P8
●町会自治会TOPICS.....	P6	●港都税事務所からのお知らせ.....	P8



「はなみずき」で買える商品の一例



いろいろな人たちとの交流を楽しみに

ここで働いてもう8年目ぐらいになるというAさん。「お客さまが自分のことを覚えてくれていて、あなたに会うために買いに来ているのよって言うてくれたことがとてもうれしいです。それにそで買ったお菓子などをぜひ食べてねと持ってきてくれた人もいました。つい最近も、たあいもない話だけど、今日はこんなことがあったよと話しながら、商品を買っていったくれたこともありました。区役所の職員や警備員、受付の方々と話ができるのも楽しいです」と、本当にうれしそうに話してくれました。最初は人と話することに戸惑いがあったというAさんですが、今ではすっかり大丈夫になって、とても居心地がよいそうです。

働き始めて1年ちょっとというBさんは、事務作業が得意で、電話対応もしているそうです。「店長がやさしいんです。お客さまとの会話は少ないんですが、皆さん思いやりがあっていい人ばかり。緊張しやすく、最初はけっこう大変だったんですが、まわりの方のサポートもあってだいぶ緊張もやわらいできました」と、ちょっと照れながら話してくれました。「はなみずき」でさまざまなお客さんと接することで、障害者の方にとっても、よい影響が出ているようです。

ものづくりの現場に潜入！

「はなみずき」にはさまざまな商品が置いてありますが、それらは一体どのように作られているのでしょうか？　そこで、クッキーやマド



製造室の様子

レーヌ、スノーボールなどの焼き菓子を提供している「みなとワークアクティ」にお邪魔して、その製造現場を見せてもらいました。

焼き菓子の製造で許可をとっているとのこと、衛生管理も万全。見学に入るときも、帽子や白衣をきちんと着込んで入室。製造室の中に入ると、成形、焼き、封入まですべて障害者の方が手作業で



焼き上がったラスクを封入。崩れやすいので丁寧に。



スノーボールを計量しながらひとつひとつ成形

行っていました。職員の方が時間や個数などを一人ひとりに確認しながら、それぞれが与えられた仕事を丁寧にこなします。「“福祉”ということを言い訳にしたくない」と、施設長の柴田さん。障害者が作っているからではなく、おいしいから買う——それが一番大切なことだと感じました。

工房ラピール（高輪）

「はなみずき」に置いてあるクッキーや美しい「さをり織り」を作っているのが、高輪1丁目にある「工房ラピール」。ものづくりに軸を置き、障害者一人ひとりの個性を生かした就労支援をしています。ここで作られる「さをり織り」は個性豊かな作品でいっぱい。一人1台ずつ割り当てられた織機の前に座り、自由な発想で色や糸を選び、織物を紡いでいきます。

その真剣な姿は作家そのもの。ぜひすばらしい作品たちに触れてみてください。

NPO法人工房ラピール 高輪1-4-8 TEL03-3444-5223



もともと自由な織り方が特徴の「さをり織り」。技法もさまざまで、縦糸が抜けていようとそれも個性の一つ。だから感性豊かな障害者にぴったりです。皆さん楽しそうに取り組んでいます。



ハッピーキャットの目やひげを付けるのは手縫いで

アトリエ・レダクラフト（麻布十番）

結婚式などで使うぬいぐるみの縫製を中心に作業を行っている「アトリエ・レダクラフト」。プロジェクトの一つとして、「はなみずき」に置いてあるフラッグを再利用したトートバッグの縫製も行っています。手縫いとミシンのチームに分かれ、手分けをしながら、さまざまな作業を行っています。「業務を細分化し、裁断などの作業をほかの福祉の事業所に出しているんです」と、代表理事の我妻さん。確かな縫製技術を武器に、全国の事業所とも連携しながら、「福祉」という枠を超えた総合的な“縫製工場”を目指しています。

一般社団法人レダクラフト 麻布十番4-4-1 TEL03-6435-0611



カットされたフラッグを手縫った手つきで、次々と縫製していきます。



高性能な刺しゅうミシンも導入されています

取材・文・写真：景山 潔

INFORMATION

NPO法人みなと障がい者福祉事業団
福祉売店「はなみずき」
芝公園1-5-25 港区役所1階
TEL 03-3578-4041

営業時間 9:30～16:30
休日 土・日・祝日・年末年始



1948年創業の老舗ホテルがLibraryホテルとして進化。

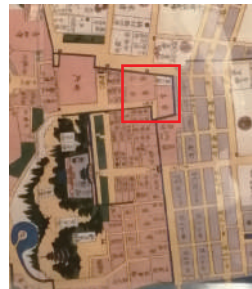
芝パークホテル



中央大階段

芝パークホテルは終戦後、外国貿易使節団用のホテルとしてオープンし緑豊かな歴史ある芝の地で「おもてなしの心」を常に大切に愛されてきました。

コロナ禍に「人、街、歴史をつなぐLibraryホテル」としてリニューアル。もともと、江戸時代に増上寺の学寮だったことがヒントとなっており、リビングのように落ち着いて過ごせる空間を演出し、美食と本の出逢いがあるホテルに進化しました。



現在、芝パークホテルが建つ学寮

「過去・現在・未来」がテーマとなった書棚

1階ライブラリーラウンジのテーマが「普遍的で揺るぎない美」。2階ホワイエのテーマが「人、街、歴史をつなぐ」。

その間をつなぐ7mの吹き抜けのある中央大階段は「紡いでゆく価値」をテーマに構成され、壁面の本棚は、圧倒的な存在感で訪れる方を魅了しています。約1,500冊の書籍の閲覧は宿泊者だけでなくお食事やアフタヌーンティーをご利用になるためにいっしょに楽しめたお客さまがレストランでもご覧いただけるようになっています。

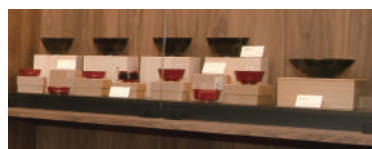
ブックバトンプロジェクトや職人ものごたり



ブックツリー

クリスマスシーズンには寄付で集められた本でブックツリーとして飾るイベントがありました。遠方や近隣企業などの寄付で、5,000冊以上の提供があったとのこと。今年のクリスマスシーズンも楽しみです。

海外のお客さまへ日本の伝統工芸品を紹介する「職人ものごたり」という企画も魅力の一つ。職人の方たちの手



魅力ある工芸品

仕事による精巧な工芸品が、本と一緒に展示されます。こちらには気に入ったものは購入可能です。



ゆったりくつろげる1Fライブラリーラウンジ

Libraryホテルで過ごす新しい時間

写真集から小説までオールジャンルでセレクトされ、「過去・現在・未来」を意識した書籍のあるLibraryホテル。お食事やアフタヌーンティーを楽しみながら新しい発見をしてみたいいかがでしょうか。



取材にご協力くださった、芝パークホテルの早乙女さん

INFORMATION

芝パークホテル
芝公園1-5-10 TEL 03-3433-4141
https://www.shibaparkhotel.com/
営業時間 レストラン THE DINING

ブレイクファスト 7:00～10:00
ランチ 11:30～14:30 (コースL.O.14:00)
アフタヌーンティー 完全予約制
喫茶 14:30～17:00 (L.O. 17:00)
ディナー 17:00～21:00 (コースL.O. 20:00、L.O. 20:30)



取材・文：尹 貴玲

芝の老舗

自動車文化とともに歩む老舗企業

＝「株式会社バンザイ」＝

日比谷通りと第一京浜をつなぐ通り沿いの芝2丁目に本社がある「株式会社バンザイ」は、クルマの検査整備機器などを販売する企業で、創業100周年を迎えました。

萬歳貿易商会の創業

株式会社バンザイの創業は大正9年(1920)。日本橋に創業者の柳田諒三が設立した「萬歳貿易商会」が前身です。

現社長の柳田昌宏さんの祖父にあたる諒三は、長野県南佐久郡桜井村(現在の佐久市桜井)に代々続く白田家の次男として生まれ、17歳で上京。大学卒業後、柳田家の養子となります。



創業者の柳田諒三



現社長の柳田昌宏さん

大正2年(1913)、日本における車両保有台数が1000台にも満たない時代に、諒三は自動車発展の確信と大衆に自動車普及をさせる強い信念で、アメリカのフォード社から自動車を輸入し、販売をはじめます。さらに自動車部品や機械工具も取り扱い、日本での普及に邁進しました。

第一次世界大戦による工業化と、大正12年(1923)9月1日に起こった関東大震災の復興により、自動車の実用性が認められ、同時に部品や



創業当時の萬歳貿易商会



昭和3年(1928)に大阪営業所を開設

用品の需要も飛躍的に高まりました。

昭和2年(1927)、日本ゼネラルモーターズ社が大阪に設立されると、諒三の会社も日本総代理店として関西へ進出。その後、全国に営業活動を展開していきました。

日本の車の保有台数はさらに増加し、部品や機械工具の需要も拡大。事業の成長に合わせ、国内外へ拠点を増やしていきました。

戦後、萬歳自動車株式会社として再建

太平洋戦争の影響で、幾度か社名を改称。昭和20年(1945)3月10日の東京大空襲により、日本橋本社は焼失しますが、翌年に再建。「萬歳自動車株式会社」として、戦後復興の途を歩みだします。

昭和23年(1948)、芝西応寺町(現在の本社所在地)に芝工場と東京営業所を開設。さらに全国へ営業所を設立していきました。

昭和23年7月2日に他界した諒三の「自動車の普及と社員第一」は、創業者の信念として次の世代へと受け継がれていきます。

戦後の特需で、国内の自動車保有率は再び増え、自動車に関わる制度も充実していきました。昭和39年(1964)の東京オリンピック開催により、全国に高速道路が整備されます。

萬歳自動車株式会社もマイカーブームの波にのり、国内から世界へと、ビジネスをグローバル展開していきました。

商号を「株式会社バンザイ」に改称

昭和50年(1975)、社名を現在の「株式会社バンザイ」に改称し、昭和63年(1988)には、現在の新本社が所在する「バンザイビル」が完成。

日本で自動車が生産されていない時代から、自動車の部品や機械工具の輸入を開始し、販売、点検整備をメインに、日本のモータリゼーションを支え続けています。



初代から数えて12代目となる現社長の柳田昌宏さんは、「一般社団法人日本自動車機械工具協会」の会長も務めています。

現在の自動車業界は、エンジンとモーターの2つの動力で走るハイブリッド自動車(HV)や



昭和62年(1987)にバンザイのマスコットキャラクター「BAN君」が誕生。様々なイベントで活躍しています



本社社屋

バッテリー電力でモーターを駆動する電気自動車(EV)、いわゆる車の家電化などの変化に対応しなければいけません。同社では、未来のモビリティ業界における安心と安全などの課題に対し、予防整備やより精度の高い診断技術に対応したスキャンツールなどを展開しています。電気自動車(EV)へのシフトは、修理が減る一方、自動化を保つ精密な整備点検のニーズをもたらします。

共存共栄を大切に、信頼を未来の力へ

同社では本業以外にも、本社の隣のビルでホテル経営も行っています。平成30年(2018)8月にフランチャイズ契約で「スーパーホテル東京・芝」を開業した際には、芝地区の人々と何度も話し合い、建物の向きや街の調和を尊重した看板にするなど、周囲の景観には特に気を配られたそうです。



総務課の湯原さん(左)とBAN君(中央)と経営企画管理室の福島さん

「株式会社バンザイ」は、モビリティ社会の安心安全を支える老舗企業。社名である「バンザイ＝万歳」には「千秋万歳＝永久に」という思いや、自動車産業の永遠を願う思いが込められているとも言われています。

「社員がいきいきと働き、お客さまに感動を与え、近隣との共存共栄を大切にしながら、百年の信頼を未来の力へとつなげていく」——お話を伺った経営企画管理室の福島さんからは企業としての強い信念を感じました。

取材: 森 明、早川由紀
文: 早川由紀

●取材協力 経営企画管理室 執行役員 室長 福島義一
総務部 総務課 課長 湯原正樹

●参考文献 『バンザイ100年のあゆみ・株式会社バンザイ創業100周年記念誌』(株式会社バンザイ100年史編集委員会Ⅱ編集)
「100周年記念ページ」:
<https://www.banzai.co.jp/100th.html>

INFORMATION

株式会社バンザイ BANZAI,LTD.
芝2-31-19
<https://www.banzai.co.jp/>



あしたを夢見る

キッズ
みらい
ルポ

「Pokke (ぽっけ) とはなんぞや?」

みなと子育て応援プラザ Pokke

赤ちゃんからお年を召した方まで、みんなの憩いの場となっている「みなと子育て応援プラザPokke」。芝5丁目に静かにたたずむこの施設には、たくさんの笑顔があふれています。Pokkeがどのような施設か知りたくて訪問しました。

取材・文: 竹内 哲子 写真: 竹内 哲子・景山 潔



Pokkeのオープンは平成20年。令和5年に15周年を迎え、たくさんの方からお祝いのメッセージが集まりました

子育てをやさしく見守る

Pokkeは、「子育てひろば」「乳幼児一時預かり」「トワイライトステイ」「ショートステイ」が一体になった子育てをするパパやママにとっても心強い施設。でも堅苦しい雰囲気は一切ありません。

子どもたちは、オーガンジーの布につつまれた天井からふりそそぐやさしい光の下で、たくさんの絵本、大きな水槽の熱帯魚、壁に飾られた子どもたちの絵に囲まれながら、ボランティアの方とピアノに合わせて唄ったり、大きな積み木で家を作ったりして一緒にすごすことができます。そしてその時間は、パパやママたちにとっても安らぎのひととき。不安や孤独、困ったパパやママへやさしく手をさしのべてくれます。



子どもたちがのびのびと遊べる開放的な室内

みんなの心よりどころ(。)

赤ちゃんの時にPokkeで過ごした子どもたちは、一時保育やトワイライトなどで遊びに来られます。赤ちゃん、おチビちゃん、スタッフさん、ボランティアさん、そしてみんなを見守る施設長の上田さん。Pokkeの大切な仲間たちは、遊びや学びを通してみんながつながり、世代を超えた交流が生まれます。

元園長の上田さんは卒園式の時はいつも涙で見送ります。そんな上田さんを中心にPokkeの輪はどんどん大きく広がっています。それがみんなの憩いの場Pokkeなのです。



やさしい笑顔でみんなを見守る上田さん



優しいお兄さんは未来のイクメン間違いない



優しいバベット人形にみんながぶりつき

利用者さんの声

K.I さん

2人目ができた時、上の子は2才。つわりが苦しくてお世話が大変。そんな時、わらをもつかむ思いでドアをたたくと、先生がひろばで遊んでくれました。出産を終え故郷から戻ったおりには「おかえり〜!」と声をかけていただき、まるで第2の実家です。フレンドリーで情報交換もできる場所です。



Y.I さん

入り口は入りづらく感じますが、中に入るとスタッフさんがとても優しく子どもと遊んでくれます。ママ友もつくりやすくてPokke以外でも会って遊んでいます。



INFORMATION

みなと子育て応援プラザ Pokke
芝5-18-1-102
TEL 03-6435-0411
<https://minato-pokke.com/>

町会自治会 TOPICS

町会・自治会ってなあに？

町会・自治会は、同じ地域に住んでいる皆さんが自主的に結成し、防災・防犯、環境美化、コミュニティなど、さまざまな活動を自主的に行っている団体です。地域の行事や活動、日ごろのご近所さんとの交流が、住みよい暮らしにつながります。今年も、各町会・自治会でさまざまな親睦行事が実施・予定されています。

餅つき大会

開催場所：塩釜公園

しんばしご るくちようめ
新橋五・六丁目町会

(新橋五・六丁目町会のエリアは、新橋5-15～19、26～33、新橋6-4～8、10～13です)

昨年の12月3日(日)に、新橋五・六丁目町会は地域の活性化と親睦を兼ねて「餅つき大会」を開催しました。

餅つきが行われた「塩釜公園」は日頃から地域の人々に親しまれ、平日のお昼時には近くの会社員の皆さんが一息つきに訪れます。

餅つき大会当日は、大人だけではなくお子さんもたくさん訪れ、地域の皆さんで大変にぎわいました。目の前でつくられたお餅は、きなこ、あんこ、磯辺焼きとしてそれぞれ振る舞われ、参加者の皆さんは、できたての温かいお餅を食べながら交流を深めました。



町会・自治会への加入はこちらから

二次元コードをスマートフォンで読み取り、申請してください。
なお、東京共同電子申請・届出サービスは令和6年3月31日で終了となります。
令和6年4月1日以降は、LOGOフォームをご利用ください。



東京共同電子申請・届出サービス
令和6年3月31日まで



LOGOフォーム
令和6年4月1日から

お問い合わせ

芝地区総合支所協働推進課協働推進係
〒105-8511 港区芝公園1-5-25
TEL 03-3578-3123

芝の家・ちゃぶ台日誌 春編

文：芝の家・
芝地区総合支所協働推進課



2023年10月29日

毎年芝の家を中心に、地域の皆さんと一緒に作っている「いろはにほへつと芝まつり」。今回は15周年。昭和40年代を思い起こし、芝の家の室内は当時流行ったジャズ喫茶風に。

外ではいつもの駄菓子屋さんが出たり、道にお絵描きしたり。芝のはらっぱでは懐かしい歌を歌ったり、三味線、太鼓、盆踊りと、みんなが楽しめる盛りだくさんな企画でたくさんの方が集まり、楽しんでいた。

今年も同じ時期に開催予定です。ぜひ遊びにいらしてくださいね。



どなたでも自由に入出りできる「まちの交流拠点」芝の家。日々近所の方から遠方の方まで、年代も0歳～学生～シニア世代の方まで、多種多様な方が立ち寄ります。駄菓子の販売もあります。おもちゃで遊んだり、紙や布でものづくりをする方、宿題をしたり読書をする方、思い思いの過ごし方をしながら、ゆるやかな交流が生まれています。

芝の家の日常とイベントなどをご紹介します。どのイベントも、どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。詳細はホームページをご覧ください。



芝の家では赤ちゃんからシニアの方までいろいろな方がいらしてください。芝の家にきた皆さんは自然と昔からお友だちだったかのように一緒に過ごされています。この写真は、偶然この日一緒になったシニアの方々に遊んでもらってニコニコな赤ちゃん。その様子を見ていてその場にいたみんなが笑顔になっていました。

芝の家ではスタッフだけではなく、お花が好きなご近所の方も一緒に毎日心を込めてお花を育てていて、家の周りにはいつも華やかです。特に春からは毎年たくさんお花が咲いて、とてもきれいです。一度見に来てくださいね。

芝の家は、芝地区の地域事業「地域をつなぐ！交流の場づくりプロジェクト」の拠点。港区芝地区総合支所と慶應義塾大学の協働で始まり、事務局スタッフとボランティアスタッフが日々の場を運営しています。姉妹拠点「ご近所ラボ新橋」(港区新橋6-4-2)と合わせてお気軽にお立ち寄りください。

INFORMATION

芝の家 芝3-26-8 TEL 03-3453-0474
〈開室日時〉火～金 11:00～16:00/土・日 12:00～17:00
※芝のはらっぱは活動日を除く
〈休館日〉日・月・祝 <http://www.shibanole.net>
開室時間は変更が生じる場合もあります。
最新の情報はホームページと掲示板をご覧ください。

区民参画組織 芝会議のご紹介！

芝会議って何？

芝会議とは、芝地区をよりよいまちにするためのアイデアを地域の皆さんが持ち寄る「自由な議論の場」です。その芝会議の中の3つの部会についてご紹介します。

(1) まちの魅力発掘部会

芝地区の魅力を発掘し、地域の皆さんに伝えて地域で共有し、さらに新たな地域の魅力発掘に結びつけます。地域の歴史や自然が形成している芝地区の魅力を伝えるツアーや座学を実施し、芝地区内外に情報を発信しています。

【活動日】 原則、毎月第二火曜日
18:20～20:00
年数回、土日イベントあり
【活動場所】 芝コミュニティはうす
(芝5-13-15 芝三田森ビル2階)



(2) まちづくり部会

芝地区を誰もが安全で安心して住み続けることができるまちにするため、海の環境汚染や地球温暖化の抑制などの環境に関する課題や防災など、芝地区のまちづくりについて検討し、理解を深める講演会やワークショップを開催し活動しています。

【活動日】 月1回、18:30～19:30
年数回、土日イベントあり
【活動場所】 神明いきいきプラザ
(浜松町1-6-7)



(3) 地域コミュニティ部会

地域コミュニティ部会では、芝地区のコミュニティ意識を醸成し、多様な人々が協働して地域の課題解決に取り組む仕組みづくりを考えています。地域住民の世代を超えた交流や地域の誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざして、地域でできることを検討し活動しています。

【活動日】 月1回、18:30～20:00
年数回、土日イベントあり
【活動場所】 港区役所、新橋区民協働スペース
(新橋6-4-2)など



自分のペースで楽しめる！

港区総合型地域スポーツ・文化クラブ三田(スポーカル三田)

芝・三田地域は多くの大使館やオフィスビルなどが立ち並ぶとともに、公私立の学校や、寺、神社、商店街があります。そして地元で育った人、新しく転入してきた人、働く人など様々な人々が行き交い、多様な文化が入り混じる地域です。

港区総合型地域スポーツ・文化クラブ三田(スポーカル三田)は、地域に関わる多くの世代が交流できる場になるよう活動しています。働く人にとっては仕事とは違う人間関係の中で趣味の活動を行う場として、シニア世代にとってはゆとりある時間を心身ともに健康的に過ごす場として、参加する全ての人々が当事者意識をもち、お互いに来た道行く道を尊重しあい、笑顔を広げ、安心して暮らせる地域の実現を目指し、自主運営しています。

歌舞伎、インプロゲーム、ボッチャやルーシダットン(タイ古式ヨガ・仙人体操)を実施していますので、ぜひご参加ください。

港区総合型地域スポーツ・文化クラブ三田 スポーカル三田

- 入会金 1ファミリー：1,000円(同一家族で2人目以降は無料)
- 年会費 表のとおり(会員期限：4月から翌年3月)

会員区分	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
一般会員：大人 ^{※1}	2,000円	1,500円	1,000円	500円
ファミリー会員 ^{※2} ：大人	1,000円	750円	500円	250円
一般会員：子ども ^{※3}	1,000円	750円	500円	250円
ファミリー会員：子ども	500円	350円	250円	150円

※1 大人：高校生以上 ※2 ファミリー会員：同一家族で2人目以降 その他、種目、イベントに応じ、都度の参加費がかかる場合があります。

※3 子ども：中学生以下



スポーカル三田は、三田中学校・芝小・赤羽小学校・御田小学校などで教室を開催しています。スタッフはスポーツ推進委員、三田地区委員、地域住民のボランティアなどで運営しています。クラブは会員制で、入会をお願いしています。スポーカル三田の会員は、スポーカル六本木、スポーカル高松、スポーカル青山の種目にも参加できます。毎月のお知らせは港区ホームページからご覧いただけます。

お問い合わせ

suporculmita@gmail.com



メールアドレス



港区ホームページ

